施策評価調書（24年度実績）

施策コード	Ⅰ－1－(3)

政策体系	施策名	安心して子どもを生み育てられる保健・医療の充実	所管部局名	福祉保健部	長期総合計画頁	29
	政策名	子育ての喜びを実感できる社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～	関係部局名	福祉保健部		

【Ⅰ．主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	安全で安心して出産できる 体制づくりと不妊への支援	小児医療体制の整備と 医療費負担の軽減	子どもの健やかな発達と 育児不安を抱える親への支援	次代の親になるための 意識の醸成と健康教育の推進

【Ⅱ．目標指標】

指標		関連する取組No.	基準値		24年度			25年度	27年度	目標達成度（%）
			年度	基準値	目標値a	実績b	b／a	目標値	目標値	25 50 75 100 125
i	周産期死亡率（後期死産と早期新生児の死亡率）（出生千対）	①	H15	5.4	4.0	3.7	107.5%	4.0	3.9	
ii	小児の重症患者を受け入れる二次救急医療体制が整備された小児医療圏の割合(%)	②	H16	30	66.7	66.7	100.0%	66.7	66.7	
iii	育児支援に重点を置いた乳幼児健診を行う市町村の割合(%)	③	H16	13.8	83.3	77.8	93.4%	88.9	100	

【Ⅲ．指標による評価】

評価		理由等	平均評価
i	達成	周産期死亡の調査や妊婦健診体制の充実等、周産期医療体制の強化を行うことで周産期死亡率の減少に繋がり、目標値を達成した。	達成
ii	達成	国庫補助事業を活用した体制整備の働きかけ等により、目標値を達成した。	
iii	概ね達成	市町村の保育士等を乳幼児健診に活用するなど、保健と福祉の連携が強化されたことにより、目標値を概ね達成した。	

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組No.	指標以外の観点からの評価
①	・不妊治療費助成事業の助成件数が増加した。 H23年度：593件→H24年度：668件（12.8%増）
②	・ひとり親家庭等の医療費負担を軽減することができた。 市町村が助成した件数 H23年度：181,417件→H24年度：215,076件
③	・育児不安を抱える母親からの相談件数 H23年度：3,168件→H24年度：3,805件（20.1%増）
④	・要請のあった学校や地域の組織等へ保健所が出前講座などを行い、健康教育の推進を図った。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組No.	事業名（24年度事業）	事業コスト（千円）	25年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
①	不妊治療費助成事業	86,797	継続	46
	妊婦歯科健診体制整備事業	4,210	継続	45
	妊娠の悩み相談体制整備事業	6,900	継続	47
②	子ども医療費助成事業	978,876	継続	48
	ひとり親家庭医療費助成事業	222,431	継続	50
	小児救急医療体制整備推進事業	92,726	継続	44
③	育児不安すこやかサポート事業	1,703	継続	49

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

○新生児乳児マススクリーニング検討委員会（H25.2.21） ・タンデムマス法を導入すべき。	

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	・母子保健体制の充実や子どもの健康づくりを推進するとともに、不妊への支援や子ども一人ひとりの状況に応じた支援を継続する。 ・安心して子育てができるよう、必要な時にいつでも、どこに住んでいても適切な医療が受けられる小児医療提供体制の整備を推進するとともに、医療費負担の軽減を図る。 ・母親の育児不安に対する支援や思春期の保健対策などを推進する。